

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1. 五類定点疾患週報情報

令和8年第34週(令和8年8月17日～8月23日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1		No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症 (ARI) ※2	2,947	31.69	—	↗	11	突発性発しん	13	0.23	0.26	
2	インフルエンザ ※3	34	0.37	0.30	→	12	ヘルパンギーナ	22	0.39	0.64	↗
3	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	74	0.80	—	↘	13	流行性耳下腺炎	2	0.04	0.04	
4	RSウイルス感染症	11	0.20	1.33	↘	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	22	0.39	0.21		15	流行性角結膜炎	9	0.47	0.57	
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	1.04	0.80	→	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	感染性胃腸炎	206	3.68	2.73	↗	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.03	
8	水痘	4	0.07	0.09		18	マイコプラズマ肺炎	12	0.60	0.42	↘
9	手足口病	45	0.80	1.42	↗	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.01	
10	伝染性紅斑	3	0.05	0.52		20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点 (内科)	ARI定点 (小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	56	19	20

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ～ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ～ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

- 手足口病の定点当たり報告患者数が県内すべての保健所管内で 警報継続基準値(定点当たり2)を下回りました。流行は終息に向かっていると考えられるため、令和8年6月4日に発令した「手足口病警報」を令和8年8月27日に解除しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
手足口病	5	2	—	警報解除 (R8.6.4 発令分)	0.14	0.40	0.60	0.67	1.33	0.50	0.71

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 なし
- 急減疾患 なし

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	1	2	2		2	2	1
三類	6	コレラ	1							1
		腸管出血性大腸菌感染症	5					5		
四類	3	E型肝炎	1					1		
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1					1		
		日本紅斑熱	1					1		
五類	12	ウイルス性肝炎	1		1					
		急性脳炎	1					1		
		後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2					2		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1	1	
		梅毒	5					5		
		百日咳	3					1		2

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>